

なぜ、日本の労働生産性は低いのか！ ドイツ流の働き方を徹底分析

日本の労働生産性はOECD35カ国の中20番目、一方ものづくりのライバルであるドイツは、休暇を多く取りながら生産性は日本の1.5倍です。
特に日本は生産現場における生産性は高いが、ホワイトカラーと呼ばれる間接部門は残業が多く、生産性は非常に低いのが現状です。

現在、厚労省が「働き方改革」を提唱し、残業時間の上限規制強化、また残業時間の公表義務等から、日本の企業は働き方を大きく変える事が必要です。
本セミナーでは、なぜドイツ製造業の労働生産性が高いのかを徹底分析し、その上で日本のホワイトカラー改革の進め方を最新事例と共にご紹介致します。

講演内容

- ドイツ製造業の最新状況
- 長期休暇を取っても仕事が回る理由
- 日本で間接部門改革を成功させる条件
- 間接部門の生産性を数値で捉える方法
- 経営数値につながる間接改革事例

開催要領

日時：2017年 **8月29日** (火)
13:15 ~ 16:40 (受付13:00~)
会場：アルカディア市ヶ谷 会場「霧島」
JR市ヶ谷駅 徒歩3分
受講料：20,000円 (税込)
定員：40名
対象：経営者・経営幹部・部門責任者限定

講師紹介

特別講師 **熊谷 徹**

元NHKワシントン特派員。
1990年から現在までフリージャーナリストとしてドイツ ミュンヘンに在住。
著書「あっぱれ技術大国ドイツ」
「ドイツ人はなぜ、1年に150日休んでも仕事が回るのか」「偽りの帝国・緊急報告 フォルクスワーゲン排ガス不正の間」
「日本の製造業はIoT先進国ドイツに学べ」
その他多数



株式会社テクノ経営総合研究所 南野 嘉也
本部長コンサルタント

総合機械メーカーにて幾多の動力伝達装置の企画・開発・設計に従事し、数多くのプラント関連PJに参画。技術部門管理者として業務のシステム化、コストダウン及び品質改革に取り組む。特に、間接部門の業務改革で大きな成果、実績をあげている。



お申し込みはこちら FAX: 03-3262-0277 or <http://www.tmnq.co.jp>

下記申込書にご記入の上、FAXまたは弊社HPよりお申し込みください。HPからのお申込みいただくと受講料1割引きとさせていただきます

貴社名				TEL	-	-
事業所在地						
参加者名	ふりがな	所属部署	(上記対象の方限定です)	E-mail		
	お名前	役職名				
参加者名	ふりがな	所属部署		E-mail		
	お名前	役職名				
窓口担当者 (請求書送付先)		所属部署		E-mail		